

2026年9月改定版 宮城県委託 中堅層向け開発技術スキルアップ研修

受講料無料

研修参加者募集のご案内

本研修は主に若手・中堅 IT 人材の新技术習得機会の創出を狙いとした実践型研修です。

■主 催：一般社団法人宮城県情報サービス産業協会(MISA)(宮城県委託事業)

■参加対象：主に開発系 IT 企業／ユーザー企業 IT 部門の若手・中堅エンジニア人材

※宮城県内に拠点を有し事業を行っている企業であることが企業としての参加要件となります。

(MISA 会員の有無、業種、企業規模、本社所在地、実際の参加者の居住地や勤務地自体は問いません)

<中堅層向けデジタル人材育成研修>

オンライン開催／一部会場開催

DX 人材類型	コード	科目名(各科目共に定員20名)	開催日程
ビジネスアーキテクト	BA-1	AI 駆動型開発実践 募集終了 (Git・コーディング・プログラミング)	7/28(火)、8/4(火)、8/20(木)、 8/24(月)、9/4(金)、9/11(金)
	BA-2	AI 駆動型開発による開発工程革新 (要件定義からデバッグまで) ※AI 駆動型開発の品質保証への応用	1/13(水)、1/20(水)、2/3(水)、 2/10(水)、2/17(水)、3/5(金) 3h×6回 内2回は集合
デザイナー	FA-1	生成 AI によるフロントエンド開発実践 (生成 AI 活用型 Web エンジニアリング)	1/14(木)、1/21(木)、1/28(木)、 2/4(木)、2/18(木)、2/26(金) 2h×4回(オンライン)+3h×2回(集合)
サイバーセキュリティ	MA-1	クラウドインフラ(AWS) 募集終了	7/1(水)、7/8(水)、7/15(水)、 7/22(水)、7/29(水)、8/5(水)
	MA-2	DevOps(Docker&CI/CD) 募集終了	8/19(水)、8/26(水)、9/1(火)、 9/7(月)、9/14(月)、9/29(火)
データサイエンティスト	DS-1	DX・IT コンサルティングの技術 開催中止 (データ化された業務のビジネス価値)	11/24(火)、12/1(火)、12/8(火)、 12/17(木)、12/24(木)
ソフトウェアエンジニア	MJ-1	モダン JS/TypeScript	10/7(水)、10/14(水)、10/21(水)、 10/28(水)、11/4(水)、11/11(水) 2h×6回(完全オンライン)
	MJ-2	React.JS/Next.JS (フロントエンド JS アプリケーション)	11/18(水)、11/25(水)、12/2(水)、 12/9(水)、12/16(水)、12/23(水) 3h×6回(完全オンライン)
共通スキル	PM-1	PL(プロジェクトリーダー)スキルアップ 研修	12/1(火)、12/8(火) 3h×2回(完全オンライン)
新規追加!	PM-人財	見積技法研修 (MISA 人財委員会との連携開催)	11月17日(火) 9:30~17:30(完全オンライン)

開催時間：14:00~17:00(3時間開催)、15:00~17:00(2時間開催) ※PM-人財は1日開催

⇒過年度の研修において派遣系 IT 企業の客先常駐者など一部の受講者から1回あたりの開催時間のさらなる短縮を求める声があったため、2026年度より試験的に一部を2時間/回として実施いたします。

■受講料：無料(宮城県委託事業のため)

※但し市販本を使う研修の「市販本テキスト」、クラウドインフラや生成 AI などの「有料サービスへの登録や課金」は各社の自己負担・自己調達となります。演習用 PC 及び回線などの遠隔受講に必要な環境や機材は各社で準備いただきます。

■場 所：オンライン(Zoom+Slackの併用) 集合研修は仙台市中心部(受講の方に別途案内)

■お申込み：別紙の申込書に必要事項を記入の上、MISA 事務局宛にお申込みください。

→各研修共に定員になり次第締め切りいたします。開催初日の1ヶ月~1ヶ月半前の時点で申込状況が定員を大幅に下回る場合は当該コースの開講を中止し別研修に振替を行う場合があります。

<お申込み・お問合せ先>

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会(MISA) 事務局

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台ビル 5F

TEL:022-217-3023 E-mail: edu.misa@misa.or.jp (宮城県委託研修担当)

<中堅層向け開発技術スキルアップ研修>

【BA-2】 A I 駆動型開発による開発工程革新（要件定義からデバックまで）

AI 技術を活用した開発プロセス革新を、要件定義からデバッグ・品質保証・CI/CD・運用までの全工程で学び、現場で即活用できる AI 活用パターンと AI 時代に求められる開発者のマインドセットを獲得します。

◆受講対象: IT システムの開発経験者で AI 技術による業務効率化を目指す方

◆受講の前提知識・経験:

- ・何らかのシステム開発やプログラミングの経験を有すること(IT 企業か否かは不問)
- ・IT システムの開発工程の基礎知識

◆テキスト:講師独自資料(予定)

◆環境(予定):Cursor、Claude、Git/Git Hub など

※オーソドックスなツールを一通りカバーします

※Cursor (有料プラン)及び Claude Code(有料)は必須としサブスク利用料は各社負担とします。

講師: 有限会社ノヴァートレード(東京都)

回	計画日程	時間数	計画内容(但し詳細内容は変更となる場合あり)
1	1/13(水)	3h	AI 駆動開発の全体像と要求工学のリポート ・AI 駆動型開発のパラダイムシフトと、CLI 型/IDE 型エージェントの使い分けの整理 ・仕様駆動開発(AWS Kiro / GitHub Spec Kit)で「要求整理→仕様明文化→コード生成」を体験 ・CTO/CIO/CDO/CAIO 5 レイヤー責務分界マップを自組織に当てはめるワーク
2	1/20(水) 【集合】	3h	コンテキスト設計と MCP・サブエージェント構築 ・コンテキストエンジニアリングの基本思想と、AGENTS.md / CLAUDE.md の作成 ・MCP サーバの構築と、社内 API・DB への Claude Code からの接続 ・サブエージェントの役割分割と Plan-Execute-Verify の設計
3	2/3(水)	3h	AI によるテスト生成とコードレビュー ・AI テスト生成の種類別の使い分けと、精度限界(ハルシネーション等)の体験 ・Eval Suite + Golden Test の構築と CI への組み込み ・AI コードレビュー(/ultrareview、SAST+AI)の実行と、人間 QA との責務分界
4	2/10(水)	3h	品質リスク対策と CI ゲート設計 ・AI 生成コードの 7 大リスクと、3 層防御(AI Gateway / Guardrails / Harness)の設計 ・セキュリティレビュー(/security-review、SAST / DAST / SBOM)とライセンス・知財対策 ・自社用 DoD / PR テンプレート / 3 層 CI ゲートの作成
5	2/17(水)	3h	CI/CD と Platform Engineering の AI 革新 ・CI/CD への AI 統合(GitHub Copilot Workspace / GitLab Duo / CircleCI)の実装 ・Platform Engineering / IDP(Backstage + LLM、MCP プラグイン)の AI 化 ・DORA / SPACE / DevEx での効果測定と、4 フェーズ導入計画の策定
6	3/5(金) 【集合】	3h	Agentic Operations と組織導入ロードマップ ・Agentic Operations(OpenTelemetry + LLMによる Root Cause Analysis、Incident Response Agent)の設計 ・運用フェーズの半自動ループ(ログ閲覧→対応提案→人間承認→実行)の設計 ・自社向け 6 ヶ月導入ロードマップの作成と発表・相互レビュー

【集合】は集合研修での開催を予定(自己都合による集合開催時のオンライン参加は可)

集合開催の際は PC を持参いただきます(会場の Wi-Fi に接続)

■デザイナー

【FA-1】生成 AI によるフロントエンド開発実践

生成 AI を活用した“次世代の Web 開発”を体験します。Vibe coding などの AI 開発環境で画面構成やインターフェースを生成し、画像生成 AI を使ってデザイン素材を制作。GitHub Pages を用いたデプロイまでを行い、デザインから公開までを AI と協働で進める一連のプロセスを学びます。

◆受講対象: AI 技術によるフロントエンド開発の効率化を目指す方

◆受講の前提知識・経験:

・基礎的な動的 Web ページの作成技術(HTML/CSS/JavaScript など) (IT 企業か否かは不問)

◆テキスト: 講師独自資料(予定)

◆環境(予定): Google AI(Plus 以上)

※Web ページ作成 AI は各社から様々なツールが出ていますが、サーバーレンタルのサブスクがビジネスモデルになっているサービスも多いのが現状です。本研修では独自ドメイン/サーバーにおける Web コンテンツ開発や開発会社におけるフロントエンド開発の効率化なども意図し、あえて既存のオーソドックスなツールである Google AI サービス群を駆使した開発を実践します。

※Google AI の有料プラン(Plus 以上)は原則必須とします。法人として Google Workspace (Standard 以上)を既に利用されている場合は標準で Google AI の有料プラン相当の機能が利用できますので有料プランの別途準備は不要です。

講師: 株式会社 PolarTech(仙台市)

回	計画日程	時間数	計画内容(但し詳細内容は変更となる場合あり)
1	1/14(木)	3h	詳細内容は調整中
2	1/21(木) 【集合】	3h	
3	1/28(木)	3h	
4	2/4(木)	3h	
5	2/18(木)	3h	
6	2/26(金) 【集合】	3h	

【集合】は集合研修での開催を予定(自己都合による集合開催時のオンライン参加は可)

集合開催の際は PC を持参いただきます(会場の Wi-Fi に接続)

■ソフトウェアエンジニア

【MJ-1】モダン JS/Typescript

モダン JS アプリケーションを使う基礎技術を習得します。本研修の受講により、フロントエンド／サーバーサイド JS アプリケーションやその先のクラウドネイティブアプリケーション構築につなげます。

◆受講の前提知識・経験：

- ・JavaScript の基本文法に対する理解(推奨)
- ・Java などのオブジェクト指向プログラミングの知識・経験(推奨)

◆テキスト(2025 年度実績)

ステップアップ JavaScript フロントエンド開発の初級から中級へ進むために
サークルアラウンド株式会社 (著), 佐藤 正志 (著), 小笠原 寛 (著) 翔泳社 2,640 円(税込)

◆環境：・Visual Studio Code(IDE) ・Node.js(実行環境・パッケージ管理)

講師：有限会社ノヴァトレード(東京都)

回	計画日程	時間数	計画内容(但し詳細内容は変更となる場合あり)
1	10/7(水)	2h	・ES2015(ES6)基本文法 ・パッケージマネージャ、ビルド、コンパイル
2	10/14(水)	2h	
3	10/21(水)	2h	
4	10/28(水)	2h	・非同期処理(Promise, async/await) ・TypeScript 基礎
5	11/4(水)	2h	
6	11/11(水)	2h	

※ 本研修は MJ-2 受講の前提技術となります。MJ-1 と MJ-2 のセット受講を推奨します

【MJ-2】React.js, Next.js (フロントエンド JS アプリケーション)

フロントエンド JS アプリケーションの技術を学びます。本研修を経てクラウドネイティブフロントエンドアプリケーション構築につなげます。

◆受講の前提知識・経験：

- ・【MJ-1】モダン JS / Typescript の受講 (推奨)
- ・HTML、CSS を利用した HTML コーディングの知識・経験
- ・Java などのオブジェクト指向プログラミングの知識・経験(推奨)

◆テキスト (2025 年度実績)

TypeScript と React/Next.js でつくる実践 Web アプリケーション開発
2022/7/25 手島 拓也 (著), 吉田 健人 (著), 高林 佳稀 (著) 3,498 円 (税込)

◆環境：・Visual Studio Code (IDE) ・WSL2 (Linux 環境・Windows の場合のみ) ・Docker

講師：有限会社ノヴァトレード(東京都)

回	計画日程	時間数	計画内容(但し詳細内容は変更となる場合あり)
1	11/18(水)	3h	・Web フロントエンドアプリケーションの概念(CSR, SPA)
2	11/25(水)	3h	・React.js(DOM 操作、ツリー構造)
3	12/2(水)	3h	・React.js(コンポーネント、フック、ステート)
4	12/9(水)	3h	・CSS 連携(Styled-component)
5	12/16(水)	3h	・サーバサイドレンダリングの概念
6	12/23(水)	3h	・Next.js アプリケーション構築

■共通スキル（プロジェクトマネジメント）

新規追加！

【PM-1】PL（プロジェクトリーダー）スキルアップ研修

～「指示を待つ人」から「現場を引っ張るプレイングマネージャー」へ～

IT 企業の現場で即戦力となるリーダー人材を育成する実践型研修です。

PMBOK 第 7 版の「8 つのパフォーマンスドメイン」を「現場の共通言語」として体系的に習得します。WBS 作成やリスク対応といった実際の案件トラブルを想定した演習（ケーススタディ）を通じ、現場を突破するプレイングマネージャーへのステップアップを目指します。

◆受講対象： 開発系 IT 企業等の若手・中堅社員

※現場で「指導のもと業務遂行できるレベル（ITSS レベル1～2）」から「自律的に判断しプロジェクトを動かせる PL 予備軍（レベル 3）」への引き上げを目指します。

講師：（一社）宮城県情報サービス産業協会 事務局 大澤美樹子

回	計画日程	時間数	計画内容（但し詳細内容は変更となる場合あり）
1	12/1（火）	3h	・【ステークホルダー】期待値コントロール（ニーズの言語化・仕様化） ・【チーム】権限移譲とチームビルディング（“自分でやった方が早い”からの脱却） ・【開発アプローチ】【計画】 開発モデル選定と変更管理（予測型・適用型・ハイブリッド型） ・【プロジェクト作業】責任明確化型 WBS 作成 （演習）過去のトラブル案件をモデルとした WBS 作成
2	12/8（火）	3h	・【デリバリー】品質基準の自律設計（「完了基準」「品質基準」の設計・定義） ・【測定】データに基づく状況把握（テストガバレッジやバグ密度等のデータ活用） ・【不確実性】リスク管理とトラブル対応 （演習）キーマン離脱・技術トラブルを想定したケーススタディ

【PM-人財】見積技法研修

※宮城県情報サービス産業協会（MISA）人財委員会との連携開催

IT プロジェクトにおける見積の基本的な考え方から、要件分析、人員・スケジュール・金額の見積、リスクや利益の反映、見積内容の妥当性評価まで、見積プロセスを体系的に学びます。IT 企業の提案・受注側だけでなく、情報システム部門の発注側の視点も取り入れながら、双方が納得できる見積の考え方を解説します。また、グループワークを通じて、実務で活用できる見積の進め方や説明のポイントを実践的に学びます。

◆受講対象： IT 企業でプロジェクト管理や顧客提案を担当する中堅クラス

一般企業のシステム部門でシステム導入企画、ベンダー調整、予算・見積作成を担当する方
※システム開発プロジェクトの参加経験があること（IT ベンダー、一般企業の情報システム部門の方）

講師：(株)アイテック（東京都） 大島 祐子

回	計画日程	時間数	計画内容（但し詳細内容は変更となる場合あり）
1	11/17（火） 9:30～17:30	7h	・見積とは何か ・見積手法の種類と特徴、選び方 ・見積の情報分析 ・人員・スケジュール見積 ・金額見積 ・リスク・期待利益の反映 ・見積の妥当性評価

→本研修に関する詳細・申込は MISA 人財委員会の募集サイトを参照してください

各研修の共通事項

◆研修運営の基本方針：

本事業は受講者各個々人の能力開発を目的とした研修サービスではありません。企業のDXや新技術対応を目的とした産業振興施策であるため、「受講各社の自主的な取組を支援する」というスタンスを運営の基本方針とします。そのため研修環境も以下のような考え方で進めます。

⇒欠席時の自己フォローや受講後の自学自習も想定し「市販本テキスト」で対応可能な研修は市販本利用を基本とします。

⇒演習に必要な生成 AI や AWS 等のクラウドサービスの準備と利用は「各社の責任」とし、これに承諾いただくことが各研修申込受理の条件となります。

・各研修で使う生成 AI 系の有料サービスや Amazon AWS について、主催者側での研修用アカウント準備などは行わず、クラウドサービスの準備と利用(クレジットカード登録や課金時の費用負担を含む)は各社の責任に委ねる形で研修を運営します。

◆生成 AI を使う研修について(BA 系/FA 系)：

BA 系/FA 系の研修は生成 AI の有料プランを用いて研修を進めます。有料プランの契約自体は原則必須または任意(各科目の記載も通り)としますが、可能な限り有料プランでの参加を強く推奨いたします。各サービスの無料プランはあくまで”お試し”であり再現性がなく枠も頻繁に変更されるため講師や運営側での無料範囲の事前把握は事実上困難です。無料プランで参加の方は無料枠が尽きた段階で”見学”としますので、あらかじめご理解いただいた上で参加いただくようお願いいたします。

◆PC の演習環境：

- ・研修は Windows をメインとしつつ、Windows/Mac の両方に対応します。
- ・研修資料は Windows11 を利用している前提で作成します。但し Mac でも環境構築以外の講義内容はほとんど同じとなります。Mac による環境構築も可能な範囲でサポートいたします。

◆テキスト：MA 系(AWS 系)、MJ 系(モダン JS 系)のテキストは市販本となります(自己調達/自己負担)

- ・研修は市販本に沿って進めますので、受講の際の市販本の準備は必須です。市販本の自己調達を承諾いただくことが各研修申込受理の条件となります。

★研修お申し込み・受講にあたって(必ずご確認の上でお申し込みください)

本研修は宮城県委託事業であり民間の研修サービスではありません。委託事業としての成果は「研修受講後の受講者の皆様の定着」にあるため、受講にあたっては以下の点を承諾頂く必要があります。

- ① 受講者の途中での代替・代理受講は不可
 - ・研修受講者毎に定着状況調査を行うため、途中での受講者の一部代替受講や代理受講は不可です。
- ② 研修終了後の受講者理解度満足度調査アンケートへの協力(受講者向け) ※必須
 - ・各研修の終了時に各受講者に対して提出の案内をいたします。
- ③ 宮城県委託事業としての追跡調査への協力(研修窓口ご担当者向け) ※必須
 - ・受講後に行う追跡調査(受講者の在職状況の調査)に協力いただきます。追跡調査は翌年より 3 年にわたって行います。いずれも原則として研修窓口ご担当者に対するメールでの受講人材の在職状況の確認のみとなりますので、それ自体にご負担のかかるものではありません。

9月改訂版 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会

中堅層向け IT 技術者育成研修（宮城県委託） 受講申込書

※E-mailにてお申込みの場合は各項目を記載の上、WordまたはPDFファイルの添付により送信してください。

※送信の際のパスワードの設定などは各社のポリシーに委ねます。

宛先：MISA 事務局（県委託研修担当） edu.misa@misa.or.jp

(FAX : 022-217-3055)

研修窓口担当者の情報

申込日 (本書送付日)	2026年 月 日		
会社名			
研修窓口担当者 所属・役職・氏名			
連絡先 TEL		連絡先 E-mail	

※窓口担当者名、連絡先は研修の窓口担当者（今回の受講申込に関する担当者）を記入してください。

研修受講決定通知、研修受講案内はすべて記載の窓口ご担当者宛にお送りいたします。

受講者の情報（受講者名／受講希望コース）

	受講者 1	受講者 2
フリガナ		
氏 名		
受講コース 該当するものに☑	☐ 【BA-2】 AI 駆動型開発工程革新 ☐ 【FA-1】 生成 AI フロント開発 ☐ 【MJ-1】 モダン JS/Typescript ☐ 【MJ-2】 React. js, Next. js ☐ 【PM-1】 PL スキルアップ研修	☐ 【BA-2】 AI 駆動型開発工程革新 ☐ 【FA-1】 生成 AI フロント開発 ☐ 【MJ-1】 モダン JS/Typescript ☐ 【MJ-2】 React. js, Next. js ☐ 【PM-1】 PL スキルアップ研修
確認事項 (各項目を確認の上で了承チェックをお願いします)	☐ 受講の条件（理解度満足度調査／追跡調査への協力など）について了承しました ☐ 生成 AI や AWS などのクラウドサービスや市販本は自己負担である旨了承しました	

- ・ 受講料は無料です(宮城県委託事業のため)。但し市販本テキスト／クラウドサービス利用料は自己負担。
- ・ 1 社から 3 名以上でお申込の場合は複数枚に分けてお申込ください。各研修共に 1 社当たりの受講人数制限は原則として設定いたしません、大人数となる場合は別途調整をお願いする場合があります。
- ・ 申込受付後、受理通知を速やかにメールにて行います。また詳細はお申込研修ごとに別途ご案内します。
- ・ 最新技術セミナーの参加形態(会場 or オンライン)については詳細のご案内時に別途お伺いいたします。
- ・ ご記入いただいた個人情報は宮城県委託事業としての範囲内で使用いたします。
- ・ 受講希望者が極端に少ないコースは開講中止とし、別内容への置き換え等を行う場合があります。

【PM-人財】(MISA 人財委員会連携開催研修)は本用紙ではなく、MISA 人財委員会の専用申込サイトからの Web 申込をお願いします。

→ MISA 人財委員会サイト URL: <https://www.misa.or.jp/pm2026-estimate>